

東京トレッキングクラブ

T.T.C. 会 報 2019年 7 月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

<<6月の山行計画(追加)>>

No. 3, 504 鉄砲木ノ頭から三国山 <C> L 堅田秀子

6月16日(日) 7:11 新宿発小田急線小田原行急行=8:34 新松田、松田8:47(御殿場行)=9:23 御殿場 9:40 発バス=10:20 旭日丘(WC) 10:36=10:40 三国山ハイキングコース入口

(JR東京東海道線小田原行=8:27 国府津 8:31 御殿場行=9:23 御殿場)

10:50 歩き出し-1時間鉄砲木ノ頭-15分三国峠-25分三国山-30分檜木山-40分大洞山-20分アザミ平-40分籠坂峠

歩程：3時間50分+1時間30分……5時間20分

16:10 籠坂峠着の予定 (バス 16:18、16:43)

地図：2.5万図“須走、駿河小山”

費用：約5,000円

申し込み：6月14日(金)までにメール、電話でリーダーへ。

備考：鉄砲木ノ頭で富士山をみて、後は自然林の中を、ゆっくり歩きます。

<<7月の山行計画>>

No. 3, 505 乾徳山 L 飯田隆一

7月6日(土) 7:26 高尾発小淵沢行=8:44 塩山=タクシー約30分大平牧場 9:40 歩き出し-1時間20分扇平-1時間乾徳山-10分水ノタル-1時間20分国師ヶ原-1時間30分登山口(徳和) タクシーで塩山駅へ。

歩程：5時間20分＋1時間30分……6時間50分

地図：2.5万図“川浦” 昭文社“金峰山・甲武信”

費用：約6,000円

申し込み：7月4日（木）までに電話、FAX、携帯メールでリーダーへ。

No. 3, 506 早池峰山と薬師岳 L 飯島正子

7月12日（金） 7：56 東京発はやぶさ103号（全車指定）＝10：33 新花巻 12：00 バス＝12：29 大迫でタクシーに乗り換えて岳 大和坊（泊）

7月13日（土） 5：30 岳シャトルバス＝6：00 小田越 6：10 歩き出し－1時間20分五合目－1時間早池峰山（1917m）－50分五合目－1時間小田越－シャトルバス＝岳 大和坊（泊）

歩程：4時間10分＋1時間……5時間10分

7月14日（日） 7：00 岳シャトルバス＝7：30 小田越 8：00 歩き出し－1時間50分薬師岳（1644m）－1時間小田越 シャトルバス＝岳 16：55 盛岡駅 17：16 はやぶさ62号（全車指定）＝19：32 東京駅

歩程：2時間50分＋1時間……3時間50分

地図：昭文社 “栗駒・早池峰”

費用：約48,000円（東京－新花巻13,770円、バス新花巻－大迫700円、タクシー1台6,000円、シャトルバス岳－小田越700円×4、岳－盛岡1,900円、盛岡－東京14,740円、大和坊宿泊代食事付き1泊6,000円×2）

申し込み：6月12日（水）までにショートメールでリーダーへ。

※帰りのバス予約が必要のため、締め切りが早くなりました。

No. 3, 507 富士見高原・花の里めぐり L 中神琳枝

7月14日（日） 8：00 新宿発スーパーあずさ5号松本行＝9：54 小淵沢＝タクシー10分花の里 10：00 歩き出し－ロマンスエリア－白樺エリア－展望リフト往復－展望エリア－創造の森－花の里入口

歩程：2時間30分＋1時間30分……4時間 バス又はタクシーで小淵沢駅へ。

地図：花の里マップ

費用：約14,000円（交通費＋入場料・リフト代）

申し込み：7月10日（水）までにリーダーへ。

備考：特急あずさは全指定席になりました。

No. 3, 508 棒杭尾根～大平山～さくら湖 <A> L 五十嵐知也

7月15日（月・祝）（ホリデー快速1号奥多摩行）新宿6：46＝国分寺7：06

－立川 7:15＝8:21 奥多摩 8:35（東日原行バス）＝8:55 倉沢 歩き出し－
1時間魚留橋（棒杭尾根）－2時間稜線分岐－1時間一杯水避難小屋（泊）

歩程：4時間＋1時間……5時間

7月16日（火） 一杯水避難小屋－1時間45分七跳山－45分大平山－1時間15分大ドッケ－2時間丸山（栗山）－30分さくら湖－1時間10分浦山口駅

歩程：7時間25分＋1時間35分……約9時間

地図：2.5万円 “武蔵日原、秩父”

費用：約3,500円

申し込み：7月10日（水）までにリーダーへCメールで。

備考：一杯水が潤れている場合もあるので水は2リットル以上持っていくこと。

No. 3,509 秋田駒ヶ岳

L 佐藤ツヤ子

初日に登る鞍掛山は宮沢賢治の詩「くらかけの雪」にも登場する名山で春にはカタクリ、マイヅルソウなど花の山として人気のある山で頂上からは岩手山、秋田駒ヶ岳などの大展望が見られます。

今回のメイン「秋田駒ヶ岳」は花の名山としても知られています。のんびりと高山植物も観賞しながら歩きましょう。

7月19日（金） 7:36 東京（はやぶさ3号、全指定席）＝7:42 上野＝8:02 大宮＝9:52 盛岡（乗り換え）10:00＝10:17 雫石＝（タクシー）鞍掛山登山口 歩き出し11:00－1時間20分鞍掛山－50分登山口

歩程：2時間10分＋50分……3時間 タクシーで国見温泉森山荘へ。（TEL 090－1930－2992 1泊2食9,330円）

7月20日（土） 7:30 歩き出し－60分横長根（稜線）－1時間20分横岳－20分阿弥陀池－20分男女岳－15分阿弥陀池－50分八合目バス停

歩程：4時05分＋2時間……6時間05分（13:30 ころバス停）

地図：昭文社 “岩手山・八幡平・秋田駒”

費用：約35,000円（ジパング使用）

申し込み：7月10日（水）までに電話ショートメールでリーダーへ。

備考：盛岡駅の乗り換え時間が短いので気を付けて下さい。14番ホームに着いて8番ホームへ迅速に移動して下さい。

復路は八合目14:05（バス）＝15:04 田沢湖駅16:08（こまち30号全指定）＝18:39 大宮＝18:59 上野＝19:04 東京

尚、希望者には2日目の昼食400円で（おにぎり）を宿で頼めます。

No. 3,510 飯豊連峰 <A>

L 飯田隆一

7月23日（火） 東京9:48（やまびこ177号）＝上野9:54＝大宮10:14

＝11：55 米沢 12：16＝13：46 小国 14：23 発飯豊温泉行バス＝15：09 飯豊温泉荘
前 徒歩1時間飯豊山荘（泊）（電）090－5234－5002 1泊2食8,000円

7月24日（水）6：00 歩き出し－2時間30分湯沢峰－3時間20分梶川峰－
1時間40分門内小屋（門内避難小屋、1泊1,500円）

歩程：7時間30分＋2時間……9時間30分

7月25日（木）6：00 歩き出し－1時間40分地神山－50分頼母木小屋－4時
間空荷で杵差岳往復（頼母木小屋、1泊1,500円）

歩程：6時間30分＋2時間……8時間30分

7月26日（金）6：00 歩き出し－1時間地神北峰（下山地点）－2時間10分
夫婦清水－2時間飯豊山荘

歩程：5時間10分＋1時間30分……6時間40分

入浴後飯豊山荘発バス15：30＝16：16 小国 17：49＝19：15 米沢 19：39（つばさ
94号）＝21：18 大宮＝21：44 東京

地図：2.5万円“長者原、飯豊山、杵差岳”、昭文社“飯豊山”

費用：約40,000円

申し込み：7月16日（月）までに電話、FAX、メールでリーダーへ。

備考：避難小屋装備一式持参の事。予備日として一日余分に計画するので7月
27日まで予定して下さい。食料は非常食の外、一日分余分に持つこと。

《 4月の山行報告 》

No. 3,482 蕎麦粒山

パーティ：女性3名／男性1名 計4名

4月6日（土）晴。奥多摩駅は相変わらず登山者で大混雑でした。川乗橋行の
臨時バスに乗り終点で下車。多くの方は川苔山に向う。少し歩き鳥屋戸尾根に乗
った。男性2人が抜いて行った。此処からは筍ノ岩山まで緩むことのない急登の
連続である。筍ノ岩山に着いて昼食にした。女性の2人組が横を抜けて行った。
塩地ノ頭を過ぎる辺りから尾根の東側を歩くようになり道が不明瞭になって松岩
ノ頭は分からなかったので尾根筋に戻る事にした。勾配は緩み蕎麦粒山に到着。
そのあとから林道を通り登ってきた東京目黒の8人組が到着した。尾根の北側に

は少し雪が残っていた。一杯水までは登り下りが少なく歩き易い。一杯水小屋には2人が居て泊まる準備をしていた。東日原 17:22 のバスを予定していたが、皆さんの足が速く、1 台前の 16:17 のバスに間に合った。

川乗橋バス停歩き出し 8:45-917m p 10:10-笹ノ岩山 10:55~11:20-塩地ノ頭 (1,290m) 11:55-蕎麦粒山 12:55~13:05-一杯水小屋 14:25~40-東日原バス停 16:10 (飯田 記)

No. 3, 483 北本自然観察公園

パーティ：女性 5 名

4月7日(日)晴。駅前広場から西へ延びる大通りを歩く。ヤエザクラと彫刻の道は目を楽しませるが花の開花は今少し。中学校の通り沿いになるとソメイヨシノが咲く。やがて四つ角に「氷川神社」への標識を見て左へ道なりに進む。氷川神社に参拝して菜の花畑が広がる道をたどり阿弥陀堂の敷地の北斜面にあるカタクリの自生地を地元の人に尋ねると花は終りと、でも花は私達を待っていてくれた。阿弥陀堂に戻り墓地の奥に天然記念物であるエドヒガンザクラは大きく枝を広げ咲き誇っている。この先高尾さくら公園に入る。サクラ満開の草地の広場に花見の人々で大にぎわいの中で昼食。公園を出て荒川沿いの道に下り南へ歩くと左手に田んぼが広がり枯れたヨシが茂る。静かな道を畦に咲くイヌフグリ・ホトケノザなど咲く道を菜の花のつみ草を。のんびりと歩き荒井橋の下をくぐり斜面林に点在するサクラの道をしばらく行くと城ヶ谷堤に出る。桜堤通りを進み石戸城跡を過ぎると北本自然観察公園入口に着く。斜面林の中を右にゆるく上って行くと子供公園に出る。お花見で賑やかな公園で休憩をとり東光寺へ。境内にある樹齢 800 年・国指定天然記念物「石戸藩桜」は大きく枝を広げ咲き誇っている姿が素晴らしく白くて可憐な花を咲かせる巨木は一見の価値。浮きたつようなピンクの花を楽しみ、境内の収蔵庫に納められている県指定文化財・国認定重要美術品の板碑を見学して、北本行バス停に向かう。北本駅に着きレトロな喫茶店でティータイム。ありがとうございました。

北本駅 10:00-氷川神社 11:20~30-カタクリ自生地 11:45~55-高尾サクラ公園 12:00~45-子供公園 13:50~14:10-東光寺 14:20~40-北本行バス停 14:50~15:00-北本駅 15:20 (中神 記)

No. 3, 484 箱根の山 (屏風山~鷹巣山~浅間山) < C >

パーティ：女性 12 名 / 男性 2 名 計 14 名

4月7日(日)晴。関所跡でバスを降り、身支度を整えて歩き出す。登山道に入ると段差のある階段状の急坂が続き大汗をかく。アセビの花が丁度見頃で何本もあり可憐な花を付けていました。やっと着いた屏風山は樹林の中で、北条氏の砦の跡が残っています。ここからは下りですが空沢添いの歩き難い道が続きます。箱根の山と言えども結構厳しく歩き難い道です。空沢の途中で昼食を取り、やっと箱根旧街道に出、甘酒茶屋に着きひと休みしました。ここ迄の山中誰にも会わなかったけれど、ここには若者や外国人の姿も見受けられました。この先は良く整備された道と車道歩きでお玉が池や六地藏(車道から)を見、曾我兄弟、虎御前を祭った五輪塔を見て車道歩きが続き、やっと「湯坂路入口」の看板を見て山道に入る。鷹巣山に続く湯坂道は防火帯のように広く明るい道で鷹巣城跡にはベンチもありますが我々は先に進み浅間山に向う。この間も良く整備され、道の両側には沢山の椿の木が植えられ、満開に咲き乱れていました。浅間山は広い芝生上の草原で桜の開花時には大勢の人で賑わう様ですが、未だ開花には早く、人もまばらでした。予定ではここから宮の下駅まで歩くつもりでしたが、下山時間が遅くなりそうなので予定を変更し、小涌谷駅への下山路にしました。車道に出る手前には「千条の滝」があり、最近雨が降らないので水量は少なかったが、水量の多い時は見ごたえのある滝だと思います。小涌谷駅で解散しました。長い時間歩いた箱根の1日、暑い中本当にお疲れ様でした。

関所跡歩き出し 10:10—屏風山 11:10—11:40 昼食 12:10—12:25 甘酒茶屋
13:35—12:55 お玉が池分岐—14:25 湯坂路入口—14:45 鷹巣山 14:55—15:
25 浅間山 15:35—16:15 千条の滝 16:25—16:50 小涌谷駅(解散)

(佐藤(ツ) 記)

No. 3, 485 伊豆達磨山

パーティ：女性3名

4月9日(火)快晴。計画日の4/10が雨予報でしたので、1日早めて決行しました。里はソメイヨシノが満開。その後に咲くマメザクラ(フジザクラ)が咲いているか心配の山行でしたが、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、オオヤマザクラ、その他ヤマザクラ、そして目当てのフジザクラと多種類の素晴らしい桜の饗宴を楽しむことができました。天気も快晴。眼下には駿河湾が広がり、山の斜面の桜や新緑も淡い日本画のよう。そして富士山も終日美しい姿を見せてくれました。

コースは西伊豆スカイライン沿いの道で時折車道も歩くのですが、平日故通る車の台数も少なく、気持ちよい道でした。ただ笹原につけられた木の階段は思いの外蹴上げが高くちょっとこずりましたが・・・金冠山からの下り道は防火帯の芝生道でそれは気持ちよいフィナーレでした。

10 : 55 大曲茶屋バス停－11 : 45 船原峠－12 : 45 土肥峠駐車場（昼食）13 : 15
－13 : 25 伽藍山－14 : 20 達磨山 14 : 30－15 : 40 戸田峠－15 : 55 金冠山 16 : 10－
16 : 50 だるま山高原レストハウス（瀬川 記）

No. 3, 486 総会山行と懇親会

（Aコース：吉田山コース）

パーティ：女性4名／男性5名 計9名

4月14日（日）曇。スマホでルート指示を受けるカーナビ的山行はバリエーションの興をそぐので、私は好きではない。スマホのルート指示で歩くと、ルートファインディングの必要がないので、地図読みをしなくなり、想像力や緊張感もなく山がつまらなくなると思うからだ。今日の山行はスマホでルートを確認してくれる人がいたので漫然と歩いた。

今回の山行で面白かったのは、かなり立派な神社が5ヶ所もあったことである。

1）御岳神社、2）大地（字読めず）、3）朝日稲荷神社、4）我野神社（休暇村と西吾野駅の間街道脇）、5）天満宮（西吾野駅近く）荒地の多い山間僻地程、自然に対する畏敬の念が強いのだろうか。

西吾野駅9 : 00－小床峠10 : 00－吉田山10 : 30－御岳山10 : 50－御岳神社往復－休暇村11 : 30（五十嵐 記）

（Bコース：萩ノ平～坂石山～会場）

パーティ：女性15名／男性1名 計16名

4月14日（日）晴。西武線の車窓からは満開の桜があちこちに見えていかにも総会登山にふさわしい予感がしました。

西吾野駅でAコースの人達よりひと足早く歩き出し、高幡不動や関八州見晴台に行く「萩の平コース」を登る。好天に恵まれ大汗をかいてパノラマコース分岐の標識を見てひと休み。ここから萩ノ平コースと別れ「パノラマコース」に向う。下りきった木の古いベンチがある所から西吾野駅へ下る良い道を右に分け、左の細い登山道に入る。この先は余り人の入らない坂石山コースで小さなアップダウンを何度か繰り返し木に小さな札の「坂石山」の標識を確認して、踏み跡の薄い下山路を進み三社峠に着いた。このさきは踏み跡も確りして下方には神社も見え、会場は近かった。車道から会場までも桜、つつじなど春の花が満開でした。小さな里山ですが後半は地図読みの必要な面白いコースでした。（佐藤(ツ) 記）

西吾野駅8 : 35 歩き出し－8 : 55 登山口－9 : 45 パノラマコース入口9 : 55－10 : 15 坂石山分岐－10 : 50 坂石山－11 : 00 三社峠－11 : 35 総会会場（休暇村奥武蔵）

（直行）女性4名／男性3名 計7名

(総会) 司会は瀬川、飯島さんの2人で始まった。(総会出席者 合計 32名)

1) 会長挨拶。今期で会長、副会長を退任する旨の発表があった。(阪本、大塚)

2) 内規の変更：内規として会費を明文化したものが無かったので今回、明文化した。内容を読み上げその内容については会報に同封すると説明があった。(瀬川)

3) 2018年度会計報告と2019年度予算：説明(村田、飯田)

4) 2018年度会計監査報告：全て正しいとの報告(松永、大塚)

5) 2019年度役員：会長(飯田(新任))、副会長(瀬川、飯島(新任))、会計(村田)、会計監査(松永、大塚)、保険事務(大塚)、入会担当(瀬川、河野)、会報作成(瀬川、阪本、飯田)、ホームページ(飯田)、山行計画(佐藤(ツ)、中神、瀬川、菊地、阪本、飯田、河野、堅田(新任)、飯島、森戸、五十嵐、堀江(新任)、新任のリーダー堅田、堀江さんが挨拶。退任(山田)

その後懇親会となった。

No. 3, 487 高柄山-バリエーション < B >

パーティ：女性4名／男性3名 計7名

4月18日(木) 晴から快晴。寒くなく暑くない快適温度、そして無風快晴の好天に恵まれ今年一番の気持ち良い山行であった。

民家の点在する千足より尾根にとりついた。松浦本にないルートなので、踏み跡もテープもなく気分よく尾根を登った。大地峠に至ると、周辺には数年前までなかった林道が伸びていた。こんな所に新しく林道を造る位なら、丹沢の水ノ木林道や奥多摩の小川谷林道など崩落したまま放置されている林道を修復して欲しいと私達山やと思うのだが。

今日は余りにも天気が良く、そして新緑とミツバツツジの紅色が鮮やかで、何回も休憩し景色を楽しんだ。高柄山東稜はトラロープのある急坂が数ヶ所あり、登りには良いが下りは要注意だ。尾根の末端は下降点が不明で、道路はのり面が多い。沢の状態も分からないので安全を期して500m地点で南へ下りることにした。車道を40分程歩き秋山温泉ネスパで一浴し送迎バスで新装なった上野原駅へ送ってもらった。

四方津駅 8:20-千足 9:10-大地峠林道 11:00-高柄山 12:15~40-500m
点 13:30-金山 14:15-秋山温泉 15:00=(バス) 上野原駅 (五十嵐 記)

No. 3, 488 雁ヶ腹摺山~吹切ノ尾根~鳥屋ノ丸 < B >

パーティ：女性3名／男性1名 計4名

4月23日(火)晴。前日になって道路のゲートが閉っていて大峠まで行けないことが分かった。参加者にはとりあえず山行中止の連絡をしたが、どこかへ行きたいとの声が聞こえてきた。そこで今回のコースの先(鳥屋の丸から御前の頭)を計画して連絡した。コースは松浦本を参考した。結論から云うと地図読み山行となった。大月駅からタクシーで桑西バス停まで行き下車。200m位先に行き脇道に入る。最後の民家は壊されていたがこの先から山道に入る。10分位歩くと山が崩れていて、進むと沢に落ちそうなので少し戻り、下の野文沢の道までザイルで下る。又行きづまったので右岸に渡渉し、大きな岩を登りきると踏み跡と赤布が出てきた。再度左岸に渡り標高860m位から進路を東に向ければ鳥屋ノ丸に行ける筈である。赤布を探し地図で確かめながら急坂をどんどん登った。急登を続けていると赤布が無くなったが、方向はあっているので、強引に登る。又巡視路が出てきて尾根に出た所に(No.15号)と書いてあった。松浦本によるとこの少し先に鳥屋ノ丸があると書いてある。鳥屋の丸に着いて休憩をした。然し松浦本では桑西バス停から鳥屋ノ丸まで55分と書いてある。我々は決して遅い速度で登っているわけではないのに2時間10分かかっている。2003年にTTCでこのコースを下った時は下りで1時間10分かかっていたので松浦本は1時間55分の間違ひではないか。御前ノ頭の三角点迄はヤセ尾根。ミツバツツジの赤紫が目染みる。次のコブで三つ峠と富士山を見た。急下降が始まったがここで道を間違えて踏み跡のあるやせ尾根を下ってしまった。下りきったところに一軒家があり79歳の男性が隠遁生活の様に暮らしていた。ログハウスは自分で作り、太陽光発電で電気を賄い、1週に一度食料を買いに行くという生活。間違えた事を話すと、「俺が黄色のテープを付けておいた」といい、松浦本にも黄色テープから急下降すると書いてある。下からは間違えた尾根と行く予定の尾根が良く見えていた。サクラのお花見をしながらバス通りを歩き、再度ここに来ることを心に誓い帰宅の途に着いた。

桑西歩き出し8:45—鳥屋ノ丸10:55—昼食12:00~30—御前ノ頭12:40—道を間違える13:00頃—一軒家に降り立つ13:50 (飯田 記)

《 お知らせ 》

☆ 8月の山行予告

7月31日(水)～8月3日(土) 雷鳥沢にテント3泊。付近の山を散策します。下山は出来れば一ノ越から黒部湖を歩きます。 <A> 五十嵐

8月下旬 蝶ヶ岳-常念岳 <A> 飯田

☆ 次の方が入会しました。

No. 597 村田修也

☆ 次の方の住所が変更されました。

No. 562 水上博和

☆ 次の方が退会しました。

No. 589 滝沢志津子、No. 590 後藤道生

☆ スポーツ安全保険について

担当 大塚康彦

下記の35名の加入手続きを完了しました。

米津蒼生子、飯島正子、村形律子、持田ヒデ子、吉原幸子、石川博康、松永道子、瀬下清、石田里千代、高橋淑子、富永愛湖、森田俊子、大塚康彦、瀬川仁子、阪本弘二、阪本操子、山田広子、村田美和子、加瀬栄子、河野良子、佐藤ツヤ子、菊池玉記、中神琳枝、荒サト子、堅田秀子、矢島正枝、南出淑江、奥村千秋、下山純子、虹紅輝、高田喜代美、森野綾子、市原晃毅、飯田隆一、村田修也
(申し込み順)

本年も安全第一で楽しい登山を楽しみましょう。

☆ 石川博康さんから山用品の提供がありました。希望者にはお渡します。希望者は河野又は堅田まで申し出てください。山用品リストは次の通りです。

- 1) 冬季節用山靴(26～27cm位) (ビブラムは張り替え済で新しい)
- 2) 沢用靴(モンベル)
- 3) 夏用ダウン寝袋
- 4) 寝袋(ダウン450g入り)
- 5) ストック2本
- 6) マット(全身用)
- 7) コップェル(チタン)
- 8) 30リットル中古ザック
- 9) カラビナ(ロック1、ロック無2)

その他、細引き類（しっかりしているものもあり）

注）山靴は長く保管していたようで使用の際は注意が必要、全般的に品質のよい物が多い。

☆ 丹沢、箱根へ入山する場合の注意

丹沢及び箱根山地（相模原、秦野、厚木、伊勢原市、松田、山北町、清川村及び南足柄市、葉金町）では、シカの採食で衰退した自然植生を回復させるため、2019年5月から翌年3月まで銃器でシカを捕獲しています。入山者の安全確保のため、歩行ルート等の誘導を行う場合がありますので、ご注意ください。
問合せ：自然環境保全センター野生生物課 046-248-6682

☆ 7月の役員会は7月3日（水）練馬区役所 1907号室 17：00～19：00です。

☆ 8月の山行計画及び山行報告を5月31日（金）までに飯田迄提出して下さい。